

平成29年度 研究概要

— 研究の趣旨 —

本校教育目標及び基本方針に基づき、日常の教育活動を充実強化する、教育課程の改善に直結する分かりやすい実践研究をする。

そのため、主題と実践内容を分かりやすく絞り、授業のねらい、授業計画～実践を中心とした研究にする。

併せて、指導者の知的障害教育の基礎基本の習得、再確認と資質を向上させる。

I 実践研究（2か年）

1 全校研究 [全校職員]

— 全校研究主題 —

「合わせた指導」の基本を徹底した授業づくり

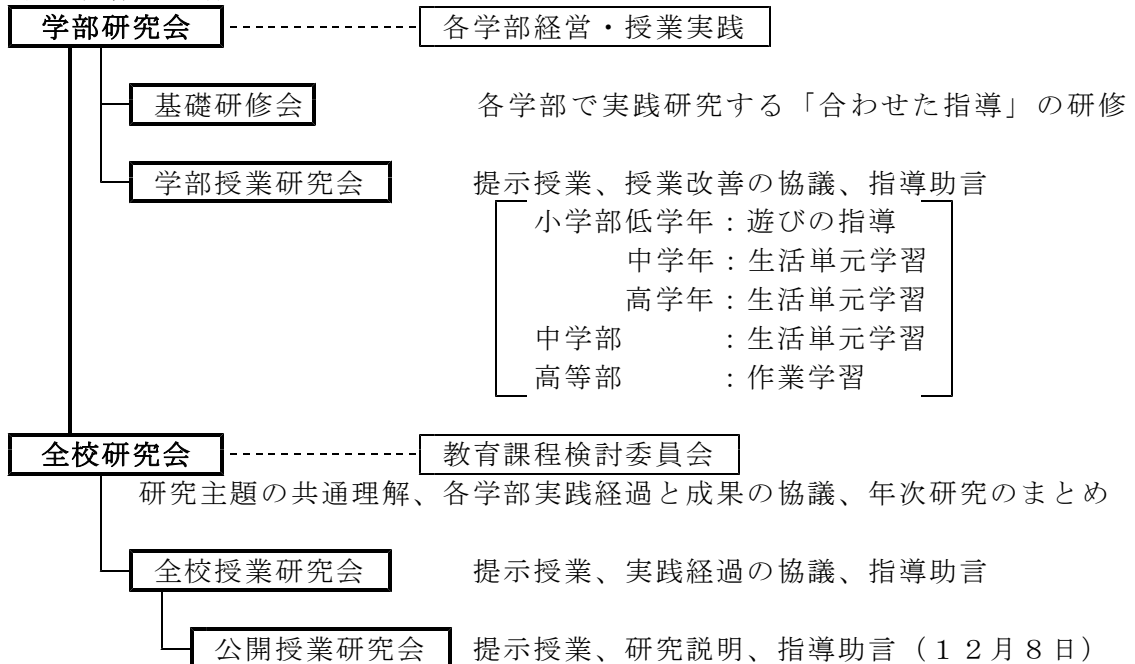
～「授業改善プロジェクト」の検証と成果を踏まえて～

(1) 研究主題の設定理由

現状の学習指導の課題を踏まえ、

- ・「各教科等を合わせた指導」の基礎基本を十分に理解し、押さえるため
- ・「授業改善プロジェクト」の成果を生かすため
- ・次期学習指導要領を踏まえた教育課程の改善のため

(2) 研究組織・内容



外部関係組織・事業：県特研、県教委「授業改善プロジェクト」

2 学科研究（職業科：環境・福祉科）〔学部主事、両学科主任、職業科職員〕

—— 学科研究主題 ——

教育課程の改善に向けた「実践的な職業教育の取組」

～職域に対応した指導内容、実習の導入～

3 寄宿舍研究〔寄宿舍指導員、舍務舎監、関係学部職員〕

—— 寄宿舍研究主題 ——

生活自立に向けた個別の「生活実習」の実践

II 授業研修

1 授業者実践研修

(1) 提示授業

小学部低学年：遊びの指導

中学年：生活単元学習

高学年：生活単元学習

中学部：生活単元学習

高等部普通科：作業学習

職業科：専門教科

(2) 研修方法

・全ての職員がT1として授業提示

・学習指導案（様式2）作成、授業提示、授業改善協議

(3) 参加者

・学部主事、学科主任、研修主任、教育専門監、学部関係職員

2 校外研究会・研修会